

---

## 和歌山の一層の活性化と発展を目指して！

和歌山地域経済研究機構

理事長 小 田 章

和歌山地域経済研究機構も、設立してはや5年目を迎えるようとしています。この間、巻末にあるような研究を行うことを通じて少しは地域の活性化に貢献できたのではないかと考えています。

依然として、日本社会全体は閉塞状況にあり、その打開のために種々の施策が講じられています。にもかかわらず、それほど明るい兆しが見えてきません。同様に、和歌山も残念ながら沈滞傾向が続いていると言わざるを得ません。ただ、和歌山には新たな動きが見え始めております。経済・産業の復活のために県・市それに会議所はじめ各経済団体が起業活動を促すための支援活動を活発化させていますし、また商店街の活性化の動きもでてきています。さらに、県立大学や市立大学設置の構想も発表され、わずかではありますが明るさが見え始めています。やっと種蒔きの時期が過ぎ、発芽の準備をし始めているように思います。それゆえ、この機を逃さず、さらに発芽を促し、育苗し、実を結実できるようにせねばなりません。そのためには、種々の機関が協力し、そして地域住民の皆さんの和歌山を愛する気持ちを高揚して行かねばなりません。本研究機構もこうした動きに歩調を合わせ、新たな和歌山の創造に向けて行政や経済界に積極的に新たな提案をしてまいりたいと考えております。

残念ながら、本研究機構は、地域において未だ十分に認知された機関とは言えません。したがって、皆様に本研究機構の存在を知っていただき、大いに活用していただくとともに地域の方々とともに地域の活性化と発展に少しでもお役に立てるよう一意専心してまいります。今後とも本研究機構の研究に注目し、期待していただければと思っています。